



外国出張報告書

平成 28 年 1 月 4 日

1. 出張国名 コートジボアール、ベナン、フィリピン
2. 出張月 平成 27 年 11 月～12 月
3. 出張目的 AfricaRiceの近況の把握、GRiSP第2フェーズ打ち合わせ参加

4. 成果の概要

2016 年から AfricaRice は研究の拠点を、徐々にコートジボアールのブアケに移すことを決定しており、研究インフラの再整備状況を見極め、JIRCAS との共同研究の現場としての可能性を検討することを目的に現地に出張した。圃場については、灌漑水田の整備状況はよく、一部試験も開始されスタッフも揃いつつあることを確認した。研究棟もほぼ無傷であった。ブアケは、JIRCAS が AfricaRice と共同研究を実施する場所の一つとして有望であろう。

IRRI において行われた GRiSP 第 2 フェーズの CRP、略称”RICE”の提案書作成のための WS に参加し、特に栽培分野における JIRCAS のプレゼンスを高めるための積極的なインプットを行った。RICE の Flagship Program のうち、”Sustainable farming systems for improved livelihood“の中の一つの活動として、バイオチャーの活用に関する研究を提案し、マダガスカルで実施することを提案書に盛り込んだ。